

LGBTQ 基礎知識

まずは知ることからはじめてみませんか？



ワタシがワタシでいられるまち
アナタがアナタでいられるまち





はじめに

福岡市では、国籍や年齢、性の違い、障がいの有無などに関わらず、誰もがすべての人への思いやりを持ち、多様性を認め合いながら、いきいきと輝くまちをめざしています。

このリーフレットには、性の多様性や、社会での困りごとの他、多様性を認め合う社会の実現をめざしてできることなどについて掲載しています。

リーフレットを通して、LGBTQをはじめとする性的マイノリティに関して理解や認識を深めていただき、多様性について考えるきっかけとなることを願っています。

一人ひとりが互いの人権を尊重し合いながら、多様な人材がいきいきと活躍するまちをめざして、まずは知ることからはじめてみませんか？

1 性の多様性を考える

(1) 性のありよう

性のありようは、次の4つの要素から捉えることができます。

身体的性別

出生時における身体の
性的特徴に基づく性別

性自認

自分の性別を
自分でどう思うか



性的指向

恋愛感情または性的感情
の対象となる性別

性別表現

服装やしぐさ、
言葉づかいなど



社会には男性と女性しかいない？ 異性を好きになるのが当たり前？

性のありようは、一人ひとりに個性があるように、その表れ方や組み合わせも人によって様々です。

例えば、性自認が身体的性別と同じ人もいれば、ちがう人もいます。また、「男性」や「女性」に明確に分けられない人もいます。

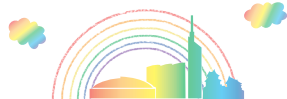
性的指向も、女性を好きになる人、男性を好きになる人、女性も男性も両方好きになる人、女性も男性も好きにならない人など様々であり、必ず異性を好きになるというものではありません。

それぞれの人にとっての「当たり前」をお互いに受容し尊重し合うことが大切です。

(2) SOGIとは

性的指向(SO: Sexual Orientation)と性自認(GI: Gender Identity)の頭文字をまとめたもので、誰もが持つ性の要素を表すことばです。更に、性別表現(E: Gender Expression)、身体の性的特徴(SC: Sex Characteristics)を加え、SOGIESC(ソジエスク)と表現されることもあります。

性的マイノリティの方も、そうでない方も誰もが「SOGI(SOGIESC)」という、多様な性のグラデーションの中を生きています。



(3) LGBTQとは

性的マイノリティの総称の一つで、レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシュアル(B)、トランスジェンダー(T)、クエスチョニング/クィア(Q)の頭文字をまとめたものです。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングの他にも、アセクシュアル(無性愛者)やアロマンティック(他者に対して恋愛感情が湧かない人)、Xジェンダー・ノンバイナリー(性自認が男性・女性に二分できない人)など、様々な人がいます。

これらは、個人の趣味や一過性のものではなく、本人の意思で変えられるものではありません。

性的指向			性自認	性的指向・性自認
L	G	B	T	Q
レズビアン	ゲイ	バイセクシュアル	トランスジェンダー	クエスチョニング /クィア
Lesbian	Gay	Bisexual	Transgender	Questioning /Queer
女性として 女性を好き になる人	男性として 男性を好き になる人	女性も男性 も両方好き になる人	生まれた時に割り当 てられた性別とは異 なる性別を生きる人 (性同一性障がい(性 別不合 [※])を含む)	性的指向や性自認が わからないと感じて いる人 /多様な性のあり方 を包括的に表す言葉

周りにいないのではなく、気づいていないだけかもしれません

*各種調査によると、性的マイノリティは、日本の人口の約10%とも言われています。

※WHO(世界保健機関)は「身体的性別と性自認の不一致は障がいではない」とし、「性同一性障がい」を精神疾患リストから外し、「性別不合」という表現に変更しています。

(4) 生活の上で直面する困りごと

性的マイノリティの多くの方々は、社会の「当たり前」によって様々な困難に直面しています。

また、差別や偏見を恐れて、当事者であることを言わない人・言えない人、子どもの頃から戸惑いを抱え、当事者と悟られないよう生活している方も多くいます。

ライフステージにおける困りごと

学
齢
期

いじめ・不登校のハイリスク

- ・当事者の約6割がいじめられた経験有*
※宝塚大学看護学部日高教授
「第3回LGBTQ当事者の意識調査(ライフネット生命委託調査)」
(2022年、有効回答数10,449人)による
- ・「男・女らしくない」「気持ち悪い」などのからかい

自分探し、仲間探しが困難

- ・家庭や学校で孤立しやすい
- ・ロールモデルの不在
- ・悩みや不安の解決に役立つ適切な情報にたどり着けない

就職困難、職場での差別

- ・性自認と戸籍の不一致による採用時の不安
- ・採用後も職場でのいじめ、からかい、昇進差別などのハラスメントを受けることがある

パートナーとの法的保障がない

- ・同性同士で結婚できず社会保障がない
- ・入院時に家族として扱われない

DVの発見・支援が困難

- ・同性間のDV
- ・相談できないまま深刻化しがち

老後に対する不安

- ・パートナーとの法的な保証がなく不安
- ・介護など

高
齢
期

健康
ハイ
リス
ク(自
死・
メン
タル
ヘル
ス・
エ
イ
・
乳
が
ん)



2 多様性を認め合う社会の実現をめざして

(1) 理解増進法の制定

令和5年6月「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されました。この法律では、「全ての国民が、その性的指向又はジェンダーアイデンティティにかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものである」との基本理念が示されています。

(2) ALLY

ALLY (アライ) は、同盟、支持者を意味する言葉が語源とされ、性的マイノリティの当事者を理解し支援する人たちのことを指します。

企業等を中心に6色の虹色のレインボーフラッグやステッカーを掲示するなど、アライであることを表明する取組み[※]も広がっています。

[※]6色の虹色は、LGBTQをはじめとする性的マイノリティが差別や偏見にさらされることなく生きていく社会をめざす想いが込められています。



ALLY になろう

まずは知ることからはじめてみませんか？

男女の区分や異性愛を前提として、それ以外の生き方を排除するような社会では、差別や偏見はなくなりません。

正しい理解と認識を深めることは、性的マイノリティを「身近な存在」として認識するきっかけとなり、誰もが多様性を認め合いながら、いきいきと輝く社会の実現につながります。

性的マイノリティに関する講演会への参加や映画の鑑賞、書籍を読むことなどを通して、多様な性のありようについて考えてみませんか。

3 福岡市の取組み

福岡市では、性的マイノリティ当事者が自分らしく暮らしていけるためのサポートとして、電話相談や交流事業などを実施します。

(1) 性的マイノリティに関する電話相談

弁護士による LGBTQ電話相談	070-7655-1698 第2木曜日・第4土曜日 正午～午後4時	○自分のセクシュアリティを第三者に暴露された、パートナーに財産を残したいが方法がわからない など
性同一性障がい (性別不合)に関する相談 福岡市精神保健福祉センター	092-737-8829 第1・3水曜日 午前10時～午後1時 (祝休日・年末年始を除く)	○医療機関の情報を知りたい、治療について知りたい など

次の窓口でも、相談を受けています

家庭や職場・地域の ことに関する相談 福岡市男女共同参画推進 センター(アマカス)	092-526-3788 月曜日～日曜日 午前10時～午後4時半 (年末年始を除く) 第2・4月曜日 午前10時～午後8時 ※祝休日は午後4時半まで (年末年始を除く)	○人間関係や自分の生き方について、パートナー・配偶者からのDVについて など
子どもに関する相談 福岡市子ども総合相談センター (えがお館)	092-833-3000 24時間 年中無休(年末年始を除く)	○20歳までの子ども本人や保護者などからの相談
人権に関する相談 福岡市人権啓発センター (ココロンセンター) 人権啓発相談室	092-717-1247 月～金曜日 午前10時～正午、午後1時～午後5時 (祝休日・臨時休館日・年末年始を除く)	

(2) 性的マイノリティ交流事業

性的マイノリティの方々が、孤立せず、悩みや情報を共有できる交流事業です。

(3) パートナーシップ宣誓書受領証の交付

性的マイノリティの方々が行う、パートナーシップの宣誓に対して、「パートナーシップ宣誓書受領証」を交付します。

その他に、教育・啓発事業などに取り組んでいます。
 詳細は、市のホームページをご覧ください。

福岡市 性的マイノリティ 検索

福岡市内を中心に活動するLGBTQ関連団体

NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会

性的マイノリティやその家族・友人などによる会。社会に根強く残っている差別や偏見をなくし多様性を認め合える社会をつくるために、どなたでも参加できる定期的な学習会や交流会を開催。

<https://lgbt-family.or.jp/>

NPO法人Rainbow Soup

福岡を拠点に支援の輪を広げながら、SOGIE や LGBTQ+ など性的マイノリティ関連の情報発信の他、各分野の専門家や自治体と連携しながら活動。

<https://rainbowsoup.net/>

一般社団法人 gid.Jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会九州支部

性同一性障害の専門の団体で、福岡市を拠点に交流会の開催、当事者及びその家族の方の相談や講演を開催。

<https://gids.or.jp/aboutus/branch/kyushu>

NPO法人カラフルチェンジラボ

九州レインボープライドをはじめ、啓発イベントや講演会、研修会を開催。

<https://cclabo.org/>

GID Link

性同一性障害の当事者が設立した自助団体。福岡県の啓発・研修講師団講師あつせん事業の講師として、企業内研修や教職員研修、誰でも学べる講演会・交流会を開催。

<https://gidlink.info/>

FRENS

福岡を拠点に、24歳以下のLGBTQ+の子ども・若者のサポートのほか、交流会、電話相談、講演会活動を実施。

<https://www.frenslgbtq.com/>

24歳以下のLGBTQ+とその周りの人の電話相談「フレンズライン」毎週日曜 午後5時～午後9時 TEL 080-9062-2416

LGBTとともに生きる弁護士の会・九州

弁護士有志による団体。性的マイノリティの権利を守るための活動を実施。

<https://www.facebook.com/lalq2015/>

福岡コミュニティセンターHACO

主にゲイ・バイセクシュアル男性に向けて、HIV/エイズや性感染症の予防啓発を軸に活動をし、同時にセクシュアルマイノリティの方々が自由に利用できるスペースを博多区住吉にて運営。

<http://loveactf.jp/>

発行 福岡市(令和7年3月)

協力 LGBTQ+ alliance in FUKUOKA

問い合わせ先

福岡市市民局人権部人権推進課

TEL 092-711-4338 FAX 092-733-5863

Mail jinkensuishin.CAB@city.fukuoka.lg.jp



みんながやさしい、みんなにやさしい
ユニバーサル都市・福岡